

おかがき '05

議会だより



吉木の柿

急げ/行財政構造改革
9月議会の概要

2 P

一般会計決算認定など
議員の賛成・反対

4 P

農振地域の見直しなど
経済建設常任委員会

5 P

一般会計・補正予算など
総務常任委員会

6 P

国保会計決算認定連合審査など
文教厚生常任委員会

8 P

一般質問
5人の議員が登壇

10 P

請願・意見書

13 P

住民の声・編集後記など



松ヶ台のススキ

定例議会

9月

概要

急げ！！行財政の構造改革

平成16年度の一般会計は黒字

で決算認定

9月定例会は9月7日～20日までの会期で開かれました。

●本議会に提出された主な議案は、

- ①平成16年度の一般会計及び特別会計決算認定について
 - ②平成17年度一般会計補正予算など
 - ③市町村合併により地方公共団体が減少することについての議会の議決事項4件
- 市場化テスト等について見直しを求める請願書



「がんばりまあーす」保育所の運動会

1.2億円の赤字

ついて見直しを求める請願否決

金病院の民営化に反対

水道事業は健全運営

登壇

協働のまちづくりのために

岡垣町写真同好会の皆様に表紙の写真を担当していただくことにしました。今回は大野ウノさんの作品です。



全員協議会

山田峠付近に遠賀中間医師会病院の救急病棟の建設計画

構造改革 行財政構造改革推進委員会では、①協働力②財政力③組織力の強化の3つの柱について審議が行なわれています。議員定数等、議会の改革については議会でも継続して議論しています。

遠賀病院民営化のその後 遠賀中間医師会病院は、開業以来、入院・外来患者ともに増加傾向にあります。また、より迅速かつ広域的な患者の受け入れが可能となるよう、山田峠付近に救急病棟の建設が計画されています。

イオン九州 農業振興地域整備計画の全体的見直しが必要であります。大型店舗の誘致により岡垣町のまちづくりをどのように進めるのかを考えていかなければなりません。

九州厚生年金病院の存続を求め意見書

● 全員協議会は、

- ① 構造改革
- ② ゴミ中継基地
- ③ 遠賀病院民営化のその後
- ④ イオン九州

一般質問 10P

5人の議員が登壇

細川 議員

問 国の大赤字を町に押しつけることは許せない。社会保障制度の見直し等で負担増になってきた。

竹内 議員

問 市町村設置型の合併処理浄化槽の設置を急ぐべきだ。10月を目前に合併処理浄化槽の方向性を決定する。

西田 議員

問 発達障がいへの支援態勢の確立と充実を求める組織的取り組み

久保田 議員

問 構造改革で希望ある明日がみえてくるのか。みえてくるように努力する。

平山 議員

問 アスベスト問題についてどう取り組んでいるか。現在調査中であり緊急度合いにより対応していく。

請願・意見書 13P

市場化テストについての請願書
年金病院の民営化についての意見書

請願書 以下3点の要旨による請願書

- ① 住民に対する行政サービスの確保に必要な権限と財源を確保すること
- ② 国民の権利を後退させる公務・公共サービスの民営化や「市場化テスト」は行わないこと
- ③ 人材確保を困難にし、地域経済を疲弊させる公務員賃金への地域間格差の導入は行わないこと

意見書

法案成立により九州厚生年金病院の整理合理化計画が策定されることになりました。年金病院は救急・産科・小児科等の一般に不採算部門といわれる医療も行うなど、地域医療に貢献しています。そうした年金病院の売却・民営化について、現状のまま存続させ、一層の充実を図ることについての意見書。

- 国民健康保険は約
- 市場化テスト等に
- 議会は九州厚生年
- 水道事業・公共下
- 一般質問に5人が



17 議案について

議員の賛成○・反対●

	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	結果	矢島 恵子	細川 光利	竹井 和明	太田 強	土屋 清資	石井 要祐	西田 陽子	三角 善彦	大堂 圈治	曾宮 良壽	市津 広海	木原 信次	松井 弘彦	久保田 秀昭	勢屋 康一	竹内 和男	平山 弘
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体数の増減について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体数の増減について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体数の増減について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体数の増減について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成17年度一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成17年度水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて 平成17年度一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成16年度一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●
平成16年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成16年度老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成16年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成16年度岡垣町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成16年度農業及び漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成16年度水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号市場化テストや公務員の給与構造見直しに関する請願書	賛成少数 否決	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○
発議第4号議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第4号九州厚生年金病院の売却・民営化に反対し、充実を求める意見書	賛成多数 可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

町づくりの基盤を見まもる

経済建設常任委員会

農業振興地域の見直しと イオン九州進出計画について

長期にわたる景気の低迷から、国・地方の財政状況は悪化し、危機的状況となった。

そこで少子化の加速・資源消費型から循環型社会へ転換しなければならぬ。さらに財政の厳しい状況から建て直さなければならぬ。

今後は「第四次総合計画」を基本とし、「岡垣町地域活性化計画」で行財政の再構築を行い、住民福祉の増進を図らなければならない。

全体の状況について

9月中旬以降に、地元区生産組合へ計画の概要案を説明する。

今後の予定は、農業振興地域整備計画の見直しと、調整が必要となる。

農業振興地域整備計画の見直しと調整について

・八幡農林事務所と全体見直し案で協議した。
・県農業振興課へ全体見直し案で事前協議したが、当該課は計画地域の農用地除外については、厳しい見解を示している。

・今後は、厳しい状況を何とか打開するため、県に対し全体見直し案の妥当性を継続して協議するとともにあらゆる手法を活用して、最新の取り組みを進めることとした。

農業関係へ期待できる効果について

・生活関連店舗が希薄であったが、消費者利便の向上
・農村地域内の若者の雇用

機会が増える

・周辺農家の農産物の高度利用や所得の向上をはかる
・農産物の地産地消を視野に入れた新しい取り組みが期待できる。



イオン九州進出計画予定地現場視察

今こそ地産地消で

健康な町をめざして

委員長 十屋 清資

平成17年4月より委員会の構成メンバーがかわって、最初の研修にブルーベリーの生産・加工販売で藤熊さんを中心に農業振興と町おこしに成功し、さらに安定した収入を得るためジャム・ソフトクリーム・パンなどの加工品を拡大、生食と共に販路を広げている奈良県大宇陀町と、村上利夫市長のもとで全国で初めての「食のまちづくり条例」を制定している、福井県小浜市を、その中で特に地産地消は条例の一つの柱になっており、中山間地域で生産された野菜は3年の歳月を経て学校給食の80%が供給されるまでになっている。



滋賀県大津市でブルーベリー紀伊国屋との商号で観光農業に取り組んでいる一人の実業家を訪問、山の中腹でブルーベリーの生産と加工食品を販売しているが、不便な所でも多くのお客さんがみえている。
本町でも豊かな自然と、豊かな資源を有効に生かした観光農業・観光水産業の活性化に力を注ぎたい。

自立のまちづくりのためには 行財政構造改革 総務常任委員会

問

決算認定にあ
たって町長の総
括を問う

は平成15年度の繰越金を一
般財源化した額であり、黒
字であるからといってゆと
りがある状態ということに
はならない。

平成16年度の当初予算の
編成については、いわゆる
三位一体の改革により先行
き不透明な状況の中で取り
組むことになった。具体的
には地方交付税と臨時財政
対策債で合計約3億円の減
額となり、そのため、7億
円の基金からの繰り入れで
予算の編成を行った。決算
では徹底した経費節減等に
取り組んだため基金の繰り
入れは2億円にとどまった。
また、2億6000万円の
黒字決算となったが、これ

町長

問

なぜ黒字決算
が実現したのか
具体的に

昨年を改革断行の年と位
置づけて取り組み、本年は
行財政構造改革に着手す
る年として、現在、審議会を
通して審議中である。今後
も、自立のまちづくりに資
するよう精査していきたい。

総務課長

当初予算について、歳入
については三位一体の改革
により、地方交付税等の歳
入見込みが立て難かったこ
と、また、町税関係では、
不況の状況下でもあるため、
辛口の歳入見込みとせざる
を得なかつたためである。
結果としては、町税・地方
交付税・地方消費税交付金・
諸収入などの歳入が、当初
予算と比べて決算額で約6
億5000万円増加した。

問

来年度予算に
どう反映させる
のか

町長

行政改革推進委員会を通
して検証していく。自立の
まちづくりにあたっては、
“受益と負担”の考え方も
非常に大切となってくる。
協働のまちづくりとなるた
めにも町民のみなさまと意
思の確認を行いながら取り
組んでいく。





視察先の職員の説明に聞きいる議員たち



団塊世代の活用・取り組み・ 指定管理者制度について視察

委員長 勢屋 康一

平成17年8月28～29日にかけて、武蔵野市、荒川区役所へ視察研修に行き、武蔵野市は団塊世代の活用取り組みについて、平成16年3月31日現在（昭和22年～24年に生まれた人）6320名中3000名にアンケート実施した団塊世代の主張委員7名（市民5名、市外だけと市に勤めている人2名）で平成15年12月～平成16年5月まで6か月議論し、市の基本構想・長期計画（平成17年～平成26年）の中に提言した。

その内容は、①カムバック武蔵野計画、②地域活性化計画、③団塊の力活用計画。

ホワイトカラーの人が多

いので、NPOを含めた中、18年度から頭出しの予算をつけながらやって行くとのこと。たとえば空店舗の利用、市が借り上げ、事務所等に提供する。また区長はなく、すべて新聞社折り込みで、住民に知らせているとのこと、街灯が切れている場合も市民が直接市役所に電話し、苦情も含め、対応を市職員が行っているとのこと。なお、議員30名中女性が8名（27%）もおられたこともびっくりした。

荒川区役所では、指定管理者制度の取り組みについて、平成15年6月に地方自治の一部改正により、指定管理者制度が導入された。この制度は住民ニーズの

化により効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間能力を活用し、経費の削減を図ることを目的にしたもの。七丁目ふれあい館の、5か所めが、平成18年2月建設開館する予定で、建設されている4か所を含め、今度も指定管理者制度で行うとのこと。

市民文化施設・保育園・高齢者施設・社会教育施設等々、指定管理者制度の、議決を得るため、事務手続きを実施中とのこと。

岡垣町も早く取り組みべきと感じた。

樋高町長にも指摘したところ、行政改革推進委員会の中で考えていきたいとの話でした。

国保の精神・生活習慣病等 一次予防の緊急性と…白熱質疑

文教厚生常任委員会

久保田議員

16年度は赤字決算だが、今後の取り組みは。

健康福祉課長

16年度の基本検診（2586人）で高脂血症が3人

に1人、高血圧症が2人に1人、糖尿病が5人に1人である。生活習慣病の予防が医療費の抑制につながる。

今後はプログラムを作り、行政区単位で取り組む。

久保田議員

国の医療制度構造改革のねらいは。又、基本的に国保とは何か。

住民課長

保健師の再編、統合、身分の制度の改革が国の社会保障審議会で検討されている

ると聞く。

町長

国民皆保険という世界に類をみない制度で、相互扶助社会保障の面がある。

久保田議員

長い歴史の中で、戦後社会保障制度は労働運動や国際社会が容認する中で確立されてきた。そして憲法25条の理念に基づいて現国保制度ができた。しかし、今後の構造改革は官から民へ、株式会社も病院経営に参入できる。生命保険会社のように一定の金額以上は保証するが、それ以下は自己負担とするもの、私の一般質問での答弁は憲法の諸原則を実現させる方向で行政改革の推進を約束したが、再度確認する。

助役

国民皆保険を下支える国民の健康増進のための重要な制度であり、岡垣町民の健康と社会保障、相互扶助の趣旨の下に推進していく。

勢屋議員

国保保険証を使わなかった人の保険料を引き下げてはどうか。

町長

相互扶助の精神からできない。

勢屋議員

保健師の増員を求める。保健師が地域に出かけ、具体的な指導、アドバイスが必要。

町長

予算的に厳しい。

勢屋議員

国保未払いの人への対応は。

住民課長

国保保険未納資格証や短期保険証を交付し対応。

木原議員

全体的に国保の請求額は大きくなってきている。一般会計からの繰り入れを考えては。又、16年度決算の赤字を基金に積み立ててはどうか。

町長

それも選択肢の一つである。検討していきたい。

西田議員

長野県の佐久市への視察で保健補導員制度といって地域の女性を中心に2年毎に700名を委嘱し、保健師さんと協力して、地域の健康指導を行っている。一次予防として効果大。岡垣町も取り入れてはどうか。又、健康福祉課だけでなく関係各課連携し、町民との協働で取り組むべき。

町長

視察報告書は読ませて頂いた。総合的に取り組んでいく。



健康って…イイネ!

竹内議員

年間30000万くらい国保のための基金の積み立てをすべき。国保11800人の中でどのくらいの人が利用しているのか。又、高脂血症が何人とか細かく分析していかなくては。

健康福祉課長

国保の給付費を下げるためには加入者の指導も必要。要所見者の取り組みもする。

竹内議員

町は財政難。民営化された遠賀中間医師会病院はサービスマも増えた。町もいつその努力と決断を。

助役

17年度は5000万の繰り入れ。国保は3年間で立て直す。3年間を見て資金のキープを検討する。

太田議員

高額所得者に健康食品の業者が並んでいる。健康はお金にかえられないので、無理して買う。健康対策の

中に薬の勉強会も入れたらどうか。

矢島議員

老人会(2500人)の中に健康推進委員会を作り、食生活を担う女性のパワーを活かしてほしい。そこへ保健師を派遣しいつしよに取り組んでいく。隣組に入らない家庭が増えていく中で、コミュニティづくりは難しいが、それが本当の協働だ。

町長

町も2つの地区に小地域福祉ネットワークを実施している。今後もそのような方向で検討する。

平山議員

国保の健全な運営も大切だが、保険証がなくて、病院にかかれない人もいる。住民の人命が第一で対処してほしい。

町長

今までも柔軟に対応してきましたし、今後もそうする。



健康づくり施策、次世代育成支援について視察
委員長 市津 広海

視察目的
健康づくり施策(一次疾病予防)、次世代育成支援

千葉県袖ヶ浦市

健康づくり事業について現市長が、健康で美しく長生きできるまちづくりを公約とし、健康づくり支援センター「ガウランド」を建設。施設の特徴は新エネルギーである地中熱利用システムを導入し、温水プール、床冷暖房に使用している。施設内用は特に用途に応じて床が変動するプール、トレーニングルームを備え、他はいこいの里の施設に準じている。ソフト事業については、健康づくり支援センターと筑波大学との提携事業で、減量教室では参加者平均8kg減量しているとのこと、また60歳以上のシニア運動教室には80名が参加している。そのほか転倒予防防止教室などがあり、健康づくり対策事業において充実していた。

長野県佐久市

子育て支援事業において岡垣町は学童保育所が主体であるが、佐久市は児童館を主体にした事業を展開している。中でも児童館は通常午前中児童が使用しないため、子育てサロンとし、子育て真っ最中のお母さん達の子育てに関する相談の場、情報交換の場、交流の場に開放している事で施設の有効利用がなされている。健康対策については、保険補導員という組織があり、その特徴は地域住民の自主的組織で自らの健康を守るために、自発的に問題に取り組み、解決を図ろうとするもので、各地区に一人一年任期とし、幅広く健康意識の高揚に努めている。

千葉県佐倉市

地域子育て支援センター

一般質問

町政を問う5人



細川 光利

国の押し付け行財政構造改革の問題点について政治見解を問う(その3)

問 政治・行政は人間社会の中で住民の安心と人間らしい暮らしを豊かにするため、に創り出された文化である。国が押し付ける構造改革は地方自治の社会的進歩ではなく後退させる内容です。結果的に社会生活の中に勝

組、負組に選別がつけられ、

弱肉強食の状況が発生する。

町民の目線で見ると町の発展、町民一人一人の安心と

幸せが危ない、町民の目線で

で国政の問題点を質問する。

一、国は何故774兆円の

大赤字をつくったのか。

一、交付税・補助金を削減

して何故地方自治体を苦し

めるのか。

一、少子高齢化社会の中で

社会保障費を削減して何故

苦しめるのか。

一、何故、国民を増税・負

担増で苦しめるのか。

一、農漁業・商工業の衰退、

倒産が何故起こるのか。

一、小泉総理は改革と言う

けれど官僚行政中枢に何故

手をつけないのか。

歴代総理の中で一番赤字

字を何故つくったのか。

答 ご質問が多岐にわたる

ので3点について答える。

一、国は社会資本整備、不

況により税収の減少が重なっ

て774兆円の債務残高にな

ったと考えられる。

一、社会保障費の件は、少

子高齢化の急速な進

展、年金、医療、介

護者の増加などによ

り給付額が増大になっ

てきたため、社会保

障制度の見直し等、

税、負担増になって

きたと考えられる。

一、国の官僚行政は

国が継続的に等しく

公平なサービスのた

め有効な制度である。

一部特権的官僚が実

権を持って便宜的に

利用する官僚政治に

移行してはならない。

問

国の大赤字を町に押しつけることは許せない

答

社会保障制度の見直し等で負担増になってきた



一般質問は会期のはじめに開催



じっくりと論議 (行政改革推進委員会)



久保田秀昭

問 (1)小泉内閣は「今の痛みに耐えれば、希望ある明日が来る」と言ったが、見えてきたのは庶民狙い撃ちの消費税の大増税、所得税

控除の見直しなど空前の大増税計画です。その一方で大企業は史上最高の利益を上げています。「強気を助け弱気をくじく」政治です。岡垣町の構造改革の後は

希望ある明日が見えてきませんか。政府が今後どういう改革を行ってくるかで変わるのではないですか。
(2)内閣府の報告書「日本21

広域自治体が担い、広域自治体ができないことを国が行うという補完性の原理の原則の徹底です。これは行政の減量化・市場化であり、

が繰り広げられるという地域間競争の徹底です。要するに、11余りの道州制と地方都市も30万人以上の大規模な基礎自治体に吸収され

れないというものです。今必要な行政改革は憲法の諸原則を実現する方向で進めるべきではないですか。

問 構造改革で希望ある明日がみえてくるのか

答 みえてくるように努力する

世紀ビジョン」等が示している地方自治体は、①地域住民が自らできないことを基礎自治体を引き受け、基礎自治体ができないことを

その前提にはナショナルミニマムの放棄があります。②住民が地域の在り方を決め、地域の主体性により生活水準を目指す地域間競争

るという姿です。公共サービスは民営化・市場化され、上層の住民だけが豊かなサービスを受けられ、低所得者は豊かなサービスは受けら

答 (1)岡垣町の構造改革は政治の動きにより当然影響を受ける。希望ある明日がみえてくるよう努力したい。(2)行政改革の方向はそうあるべきだと考えている。



変わりゆく岡垣町



平山 弘

アスベスト問題について

問 アスベスト(石綿)による被害が拡大して、深刻で大きな社会問題となっている。

答 昭和62・63年、平成13年度にはアスベスト調査を

問 アスベスト問題についてどう取り組んでいるか

答 現在調査中であり、緊急度合いにより対応していく

し、対策をとった。今回、原点に帰って、公共施設の調査を7月末から実施している。

他の施設は調査中であり、民間施設については把握できていない。

り順位を決めて処理をしていく。
問 町民の被害の実態はどうなっているのか。
答 把握していない。



アスベストとはこんなもの!

答 学校で日常的に使用している所は、過去に除去・封じこめ・囲い込みなど対策をとってきた。しかし、その他の非日常的な施設については、今回疑いがあるということで調査の対象にしている。調理用具についても早急に調査する。

町内の公共施設及び民間施設のアスベスト使用状況はどうなっているか。

現時点では、町営住宅での使用はなかったが、庁舎本館の304号室の天井裏に使用されていることが分かった。

問 調査・分析の結果、日

校舎だけでなく調理用の焼網や耐熱手袋も対象にしているが、調査しているか。

平山議員は、30人学級や学校給食、「構造改革」についても一般質問しました。

請願

討論

反対意見

市場化テストや
公務員の給与構造見直しを求める

〈否決〉

▼金の問題から、今回の小泉改革が出発しております。770兆円の大きな借金、これから少子高齢化が進み、孫の代に残していくのか。どう改革していくか。財政再建に取り組まなければならぬ時、市場化テストは、岡垣町も今後取り組んでいく方針でございます。職員の手当も、廃止できるものは廃止し、改革の方向で進め、国民、町民も改革を推進すべきだとの世論であろうと思っております。こういう立場から逆行する、この請願について反対

務員賃金の、地域格差の導入をするなどいわれますが、物価や家賃等は、都市と地方では異なります。本場の意味での公正とはいえないと思います。この国の魅力をもっと引き出すためにも改革は必要。常に前進しなければならぬ立場から反対。

▼市場化テストは、政府が小さな政府にしようとして、官から民に移行していく、財政再建のために必要だと思ふ。公共施設を官から民に移す市場化テストや指定管理者制度といったことは議会の議決事項であります。この選択をふくめ、市場化テストは当然だと思ふ。民間でできることはしていただくという考えを支持し反対します。

▼余分な財源は見当たりません。必要な行政サービス市場に民間のコスト意識を持ち込み、納税者が、同じサービスを受けるのに当たり、本当にかかるコストを知るチャンスが、市場化テストであると思う。又、公

賛成意見

▼自治体に対する三位一体の改革も、国の財政事情が優先し、国庫補助金の削減、一方それにふさわしい税源

りません。
▼本来行政というのは、公平平等でないといかない。例えば合併したところには合併特例債を出します。しないところは出しません。こんな不公平が行政の中で本来、常識として考えられないことです。この請願はまさに的を得ていることで賛成をします。



本会議中

意見書

九州厚生年金病院の売却・民営化に対し、存続・充実を求める意見書

〈可決〉

(要旨)

平成17年6月、「独立行政法人年金、健康保険福祉施設整理機構法案」が成立し、厚生年金病院の整理合理化計画が、平成17年中に策定されることとなった。

九州厚生年金病院は、病床数575床、20科の診療科を擁し、設立50年の歴史を有する大規模病院で、昨年5月に大規模災害にも対応できるよう現在地に新築移転したばかりである。

特に、救急、産科、小児科等の一般に不採算部門といわれる医療も行うなど、地域医療に大きく貢献し、信頼を得ている。

今後、地域の基幹病院として、良質の医療の確保、地域医療の連携を充実し、責任を果たしていくためにはその存続が不可欠である。岡垣町議会は、政府に対し、このような地域事業を考慮し、現状のまま存続させ、一層充実を図るよう強く要請する。

平成17年9月20日
提出者 岡垣町議会
議長 山田隆一
提出先 内閣総理大臣
厚生労働大臣

12月定例会

12月6日(火)開会予定

議会事務局

TEL FAX 282-7732

住民の声

議員さんの生の声を!!

定例議会は、都合のつくり限り傍聴し、少しでも町の行政のことを知ろうと努めています。しかし、一般質問の日に傍聴に行っても、いつも傍聴席はまばらで、3万余の人口にしては少なすぎます。

我が町を知ることによって理解が深め、しつこく町を愛する心につながると思っています。その意味で議会の傍聴することは、理解と考察の一環だと思っております。

議会だよりも発行されていますが、やはり議場にきて議員さんの生の声を聞き、行政の答弁を聞くことが心に届くのではないのでしょうか。弱くなった高齢者や、小さなお子さんがおられ傍聴に行かれない人も気兼ねなく議会の様子を知る事が出来ます。私も最近足腰が弱り、議場にいけないようになりました。車椅子席も用意されてはいますが。

(T・Mさん)

和気あいあいの健康づくり



議会チームも健闘!

天高くぬけるような青空のもと、10月10日、教育委員会主催の第16回ふれあいスポーツデー(グラウンドゴルフ大会)が総合グラウンドで開催されました。町内精鋭老若男女64チーム参加。その中に議会チームも参加、町民の皆さんと共に和気あいあい心地よい汗を流しました。

おかがき '05

議会だより

タイトルロゴ 大羽美菜子さんの作品
(岡垣中学校美術部)

編集後記

石井 要祐

9月定例議会での連合審査会の審議の中で岡垣町の水道水は大丈夫か、調査の必要は、との質問。質問の背景には、現代人が日常買い求めるミネラルウォーター、水道蛇口に取り付ける各種の浄水器の台頭があるのではないかと思う。美味しい水と言われている岡垣町の水道水の85%は地下水で、町水道課では年間460万円で水質検査を実施しつつ安全安心な水の供給に努めているとのこと。

環境教育の一授業の紹介記事で「混じりけのない純粋な水と水道水とはどっちが体にいいか」との問いに、ほとんどの人が「純粋な水」と答えたが正解は「水道水」である。純粋な水の維持に不可欠なミネラルまで吸い取り体の外に出してしまつたためだ。水道水は法律により塩素消毒するので薬品臭さが残るが、10〜15度に冷やせば美味しく飲めるそうだ。

各人が自分の好みに合った水を各種の器具を使って飲むのもよし、我が町の水道水の源、地下水神様に感謝感謝。

議会広報委員会

- 委員長 矢島 恵子
- 委員 石井 要祐
- 委員 西田 陽子
- 委員 三角 善彦
- 委員 勢尾 康一